

令和5年度 事務事業評価シート（1）

〔令和4年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ホームページによる広報活動事業			事業番号	001-003
担当部署名	市長公室	局	広報戦略	部	広報課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺市ホームページを総合情報プラットフォームにリニューアル			
		指標名	有・無	指標名	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		寄与するKPI	有・無	取組	—			
		指標名	有・無	指標名	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市広報戦略			
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市が発信する情報を伝えたい方、知りたい方（本市施策・事業の対象者）	対象数	単位	
			817,441	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に関する情報を的確かつタイムリーに伝え、市民サービスの向上、市民の安全・安心に資する。 市政に関する情報を的確かつタイムリーに市民に発信することで、市政の見える化を推進し、市民の市政への信頼・関心を高め、市政への参画、更には協働を促進する。 市の施策や魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上、堺への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導に寄与する。 			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>市ホームページにおいて、市政や暮らしに関する情報、災害時の緊急情報、市の魅力・観光情報、イベント情報などを発信するにあたり、即時的にページの作成・更新を行うことができるCMS（コンテンツマネジメントシステム）を年間を通じて安定的に運用する。</p>			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	CMS運用保守業務委託契約の受注者			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	80	80	80	80
			実績値	69	64		
	達成率	86%	80%				
当該指標を選定した理由	実際にホームページを利用した方の満足度を把握できる指標であるため						
目標値の設定根拠・算出方法	市政モニターアンケートで堺市ホームページが「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」と答えた人の割合（利用していない人を除く。）						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	市ホームページ全体のアクセス件数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	45,000,000	77,000,000	55,000,000	
			実績値	76,814,230	44,168,008		
	達成率	171%	57%				
当該指標を選定した理由	ホームページの利用状況が客観的に把握できる指標であるため						
目標値の設定根拠・算出方法	アクセス解析ツールにより集計した前年度の市ホームページ全体のアクセス件数から算出						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ホームページによる広報活動事業	事業番号	001-003
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	13,347	29,411	29,632	26,300	13,099
13 財源					
国支出金	21	20		9	0
府支出金					0
市債					0
内 其他 (関西国際空港支出名)	120	120	120	120	120
内 受益者負担金(使用料、手数料等)					0
内 一般財源	13,206	29,271	29,512	26,171	12,979
14 人件費 (b)	15,770	19,050	23,540	23,540	24,120
15 年間経費(c)=(a)+(b)	29,117	48,461	53,172	49,840	37,219

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R	決算				R	決算	
16 事業費内訳	CMS運用保守委託料	R4	決算 11,770	11,641	消耗品費	R4	決算 0	0	
		R5	予算 12,126	12,006		R5	予算 13	13	
	CMSバックアップデータ遠隔地保管業務委託料	R4	決算 279	279	研修会等参加負担金	R4	決算 0	0	
		R5	予算 300	300		R5	予算 80	80	
	ホームページシステムサーバプレイス関係費用	R4	決算 13,821	13,821		R4	決算		
		R5	予算 0	0		R5	予算		
	その他使用料及び賃借料	R4	決算 396	396		R4	決算		
		R5	予算 540	540		R5	予算		
	普通旅費	R4	決算 34	34		R4	決算		
		R5	予算 40	40		R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人	人	564,034	523,162
② 上記①にかかる年間経費	千円	33,292	36,019
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	59	69

備考 (算出についての説明等) 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合 (令和3年度69%、4年度64%) ×堺市人口 (817,441人)

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 市ホームページのアクセス数が前年度に比べ約42%減少した。これは、新型コロナウイルス感染症に対するニーズが減少したことによるものと考えられる。市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合は69%から64%に減少した。これは、ホームページをリニューアルしたことで見た目などが変わったことによるものと考えられる。しかし、市政モニターアンケートによると、9割程度の方がデザイン・見やすさ・操作性が良くなったと評価していることから、リニューアルの効果が表れている。利用しやすいホームページへのさらなる改善を行い、費用対効果を高めていく必要がある。
なお、「Ⅳ. 事業の効率性」における単位当たりの経費は経常経費のみで算出しており、令和4年度に実施したホームページサーバプレイス関係費用 (13,821千円) は含んでいない。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のタイムリーな情報発信、各部局の情報を横断的にまとめたポータルサイトの開設、PRエリアに合計31種類の画像を掲載し視覚的に訴求力を向上させるなど、ホームページでの分かりやすい発信に努め、市民の利便性向上や市政への信頼獲得に寄与した。また、ホームページのリニューアルによりデザインや操作性が向上したことに加え、LINE等のSNSと連携して情報発信を行った。
引き続き、広報紙やSNSとの連携を強化し、市の施策や市政に関わる情報をタイムリーにわかりやすく発信していく。